

研究課題名	オルメサルタン起因性胃炎の病理組織学的検討
研究の意義・目的	この研究は、高血圧の薬「オルメサルタン」により起こることがある胃の炎症について、薬を中止する前後の胃の組織を比べ、その変化や原因を調べるものです。結果により、薬の安全な使い方や、原因不明の胃の不調の診断に役立つことが期待されます。
研究を行う期間	機関の長の実施許可日 ~ 2028 年 3 月
研究協力を お願いしたい方 (対象者)	2017 年 4 月~2025 年 12 月の間に大阪公立大学医学部附属病院の消化器内科にてオルメサルタン起因性胃炎と診断された方が対象となります。
協力をお願いしたい 内容と研究に使わせ ていただく試料・情 報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 以下の項目は日常診療で取得する情報です。 ・患者基本情報：年齢、性別、診断名、病歴 ・身体所見：身長、体重 ・病理検査結果：HE 染色による炎症の変化 ・画像検査結果：上部消化管内視鏡検査 以下の項目は試料を用います。 免疫学的評価は、免疫反応や炎症の程度、組織構造の変化を反映するマーカーを用いた免疫学的評価を行い、過去に診療で取得した胃の生検検体組織パラフィンブロックの内、診断に用いない組織を使って検査を実施します。
試料・情報を 利用する者の範囲 および管理について 責任を有する者の 研究機関の名称	この研究は、公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院医学研究科消化器内科学のみで行います。 【研究責任者】前田夏美

個人情報の取り扱い	<p>この研究にご参加いただいた場合、あなたから提供された診療情報などのこの研究に関するデータや胃の生検組織は、すぐには個人を特定できない形式に記号化した番号により管理されます。</p> <p>この研究から得られた結果が、学会や医学雑誌などで公表されることはあります。このような場合にも、あなたのお名前など個人情報に関することは含まない形で公表されます。</p>
本研究の利益相反	<p>本研究の利害関係については、各研究機関で定められた利益相反マネジメントの規定等に従って必要に応じて各研究機関の利益相反マネジメント委員会へ報告を行うことにより、利益相反を管理し研究を遂行します。</p> <p>本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。</p>
研究に協力をしたくない場合	<p>診療情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益を受けることはありません。</p>
連絡先	<p>大阪公立大学医学部附属病院 消化器内科 担当者氏名：前田 夏美 電話番号：(06) 6645-3811</p>